

「良書ご案内」

書籍名	こども サピエンス史	著者名	エリック・エングホルム
出版社名	NHK出版	発行年月	2021年7月

今月は、とても大きな物語を紹介します。

本書は子供向けに書かれましたが、大人にも十二分に届く内容となっています。

地球が誕生したのは、今から45億年前のことで、私たちホモサピエンスは30万年前に現れました。

一世代を30年として約1万人の祖先が存在することになります。ひとつ1つの生命が1万人の人達にリレーされ、いま私たちが生きています。一度も絶えることなく…

地球の歴史45億年からすると、人類の誕生はたった34分前の出来事です。

この長い時間を想像すると、なんだか人生観が変わってきそうです。

祖先が住んでいたアフリカは、700万年前に気候が大きく変わりました。空気が乾燥し、多くの森が縮み、サバンナ(草原)や砂漠化が進行しました。それまでは早くて安全のために、四つん這いで木の上を移動する生活をしていましたが、それができなくなる環境となりました。

その結果、危険が一杯の地上を長い時間をかけて2本足で歩くようになっていきます。

1.2万年前に農耕が始まります。その頃は、食糧事情から100人規模のグループで共同生活をしており、全人口は500万～800万人と推定されています。

この農業革命によって、一気に人口は増えます。1グループの規模も次第に大きくなり、村、町などの社会ができてきます。

社会が大きくなると共同生活のためにはルールが必要になり、やがて国の規模にまで拡大します。

リーダーがいります、法律も必要となります。

いまの社会にあるものは、ほとんどは人間がつくった「物語」つまり「つくりごと」です。

ルール、法律、神話、宗教、会社、国も、お金も「つくりごと」です。

民主主義(すべての人は平等で、同じ価値がある)という「物語」も同様「つくりごと」です。

いま世界には、20億超のキリスト教徒、20億近いイスラム教徒、10億人のヒンズー教徒、5億人の仏教徒、その他地域の民間信仰が存在しています。

「物語」は世界中に普及し、信仰され政治的な力を持って国を動かしています。

なぜ「物語」、「つくりごと」が必要なのでしょう？

本書が語る大きな物語を眺めていると、生命の不思議さを実感させられます。

いま生きていることに素直に感謝したくなります。

岩城

編集後記

この春は賃上げがトレンド?そんな中、「障がい者の賃上げへ」の言葉を見つけた。宮城県で全国初の脱福祉型の就労機関「ソーシャルファーム大崎」(宮城県大崎市鹿島台)を開業し、障がい者の待遇改善と、自立の第1歩を試みる法人がいる。

仙台市の社会福祉法人チャレンジドらいふは、就労継続支援B型事業所の1つを廃止し、同場所にホレソウを養液栽培する植物工場を建てた。植物工場のノウハウを持つ三菱ケミカルの子会社(三菱ケミカルアクア・ソリューションズ)が設備や技術を提供する。年に17回収穫することができるホレソウは年54トンの収量を見込み、大手コンビニチェーンが販売するサラダ向け等に出荷し年間売上高4千万円を目指す。営業力のフォローは三菱ケミカルアクア・ソリューションズが安定的な販路を確保する仕組み。

●B型事業所は障害者総合支援法に基づく福祉サービスの1つ。全国に約16,000カ所あり、約40万人の障がい者が通う(R4/厚労省)

今回の試みは、「福祉サービスの利用者」から「雇用契約を結ぶ従業員」に変わり、最低賃金が適用され、対価は5-10倍に。障害年金と合わせ自立を目指したい障がい者には一縷の光となる。工賃は給料に変わり、障がい者もそこから税金を支払う。

脱福祉型就労の枠組みは日本財団が考案。工場の建設費(約2.7億)等は日本財団が全額助成。宮城県が初年度の運転資金(約1千万)を補助。次年度以降は法人の自立的な経営に移行する。日本財団理事長は「この大崎スタイルを日本中に広めていきたい」と。

発行所:株式会社ライフデザイン研究所 ホレソウは4月中旬頃1回目の出荷予定、私たちの食は大崎からが普通になるかも!?

所在地:〒541-0048 大阪市中央区瓦町3-4-87サピル2F

Tel 06-4708-6844 Fax 06-4708-7067 編集人 伊藤